



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 マクニカホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3132 URL <https://holdings.macnica.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 一将
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 大河原 誠 (TEL) 045-470-8980
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|------|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 278,562 | 15.4 | 20,653 | 68.4 | 19,611 | 73.9 | 13,580 | 72.8 |
| 2023年3月期第1四半期 | 241,320 | 35.5 | 12,265 | 67.9 | 11,280 | 50.1 | 7,857 | 25.6 |

(注) 包括利益2024年3月期第1四半期 21,214百万円(33.1%) 2023年3月期第1四半期 15,938百万円(136.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| 2024年3月期第1四半期 | 円 銭 224.25 | 円 銭 — |
| 2023年3月期第1四半期 | 126.29 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 533,145 | 224,433 | 40.5 |
| 2023年3月期 | 517,620 | 207,762 | 38.6 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 215,736百万円 2023年3月期 199,792百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 65.00 | — | 75.00 | 140.00 |
| 2024年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | 75.00 | — | 75.00 | 150.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-----------|------|--------|------|--------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 548,000 | 11.3 | 36,000 | 34.3 | 34,100 | 43.8 | 23,300 | 38.5 | 384.76 |
| 通期 | 1,100,000 | 6.9 | 66,000 | 7.1 | 62,800 | 10.5 | 42,200 | 2.9 | 696.87 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料の10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2024年3月期1Q | 60,857,382株 | 2023年3月期 | 60,857,382株 |
| 2024年3月期1Q | 300,615株 | 2023年3月期 | 300,365株 |
| 2024年3月期1Q | 60,556,917株 | 2023年3月期1Q | 62,215,780株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (セグメント情報等) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の分類が変わり経済活動の制限がほぼ解消され、景気は緩やかに持ち直しています。世界経済におきましては、ウクライナ情勢の長期化による政情不安、インフレ抑制の為の政策金利の引き上げに伴う為替変動、米中の貿易摩擦など、先行き不透明な状況が続いております。

当社の属するエレクトロニクス産業におきましては、スマートフォンやパソコン向けが主になる最先端製品であるメモリーなど一部製品について需要の減速がみられ、半導体製品の供給逼迫状況がピークを過ぎて、まだら模様になっています。そのような中、産業機器市場におきましては、将来の半導体確保に向け各国政府主導により半導体設備への投資が行われています。また、製造業DX（デジタルトランスフォーメーション）向けの設備投資も堅調でした。車載市場では、徐々に半導体不足から解消に向かうなか、ADAS（先進運転支援システム）をはじめとした安全性の向上・自動化に向けた高度な制御システム、脱炭素化に向けたEV（電気自動車）化の動きが加速し、車1台当たりの半導体搭載量が増加しています。IT産業におきましては、企業のIT投資環境は引き続き良好となっており、DX等をテーマとする投資に加えて、COVID-19の感染拡大の収束による国内外の経済活動の正常化によりビジネス規模の拡大等に伴うIT投資が拡大しています。セキュリティに関しては、自社の取引先等のサプライチェーンの弱点を悪用したサイバー攻撃によるインシデントが複数発生しており、日本政府が「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」を見直すなど、企業のサプライチェーンに対するリスク認識が高まっています。また、政府が社会インフラ設備に対して国が事前審査する基本方針を閣議決定したこと等、脅威の高まりとともに社会全体でのサイバーセキュリティ強化への投資が継続しています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は278,562百万円（前年同四半期比15.4%増）、営業利益は20,653百万円（前年同四半期比68.4%増）、経常利益は19,611百万円（前年同四半期比73.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては13,580百万円（前年同四半期比72.8%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① 集積回路及び電子デバイスその他事業

当事業におきましては、半導体の供給不足はある程度改善されてはきましたが、当社グループが主に取扱いをしているアナログIC、PLD、その他標準ICなど一部の製品では供給不足が続いています。そのような中、当社グループの注力市場である産業機器市場においては、生産の高度化・自動化を目的としたFA機器や工業用ロボット、高度な医療向けの画像診断装置や内視鏡装置などの医療機器、半導体需要の高まりに応じた各種半導体製造装置への設備投資も継続しており、幅広い分野で堅調に推移しました。車載市場では、世界的な脱炭素化の流れによるEV化やより高度な自動化・電動化が進み、半導体搭載量も増加していることから、その他標準ICを中心に伸長しました。通信インフラやコンピュータ市場では、サーバー需要が落ち込んだ影響を受けメモリー等の需要が減少しました。

これらの結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は250,127百万円（前年同四半期比14.1%増）、営業利益は18,318百万円（前年同四半期比70.1%増）となりました。

② ネットワーク事業

当事業におきましては、働き方改革やリモートワークの普及によりクライアント端末へのセキュリティ対策の重要性認識が浸透してきたことにより、エンドポイントセキュリティ関連商品が大幅に伸長しました。企業がデジタル技術を活用していく中で、データ活用の有効性の認識が広がっていることを背景に、大型案件の獲得等によりデータ分析関連商品が大幅に伸長しました。加えて、東南アジア地域を中心とした海外ネットワーク事業も大幅に伸長しました。

これらの結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は28,449百万円（前年同四半期比29.2%増）、営業利益は2,335百万円（前年同四半期比55.8%増）となりました。

(参考) 品目別売上高詳細 (連結)

| | 前第1四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日) | 当第1四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) | 前年同期比(%) |
|-------------------|---|---|----------|
| | 金額(百万円) | 金額(百万円) | |
| 集積回路及び電子デバイスその他事業 | 219,303 | 250,127 | 14.1% |
| 集積回路 | 201,720 | 228,323 | 13.2% |
| PLD | 22,738 | 31,310 | 37.7% |
| ASIC | 6,130 | 7,648 | 24.8% |
| ASSP | 30,703 | 33,234 | 8.2% |
| アナログ | 60,248 | 71,784 | 19.1% |
| メモリ | 35,015 | 13,923 | △60.2% |
| その他標準IC | 46,883 | 70,423 | 50.2% |
| 電子デバイス | 13,559 | 15,092 | 11.3% |
| その他 | 4,023 | 6,710 | 66.8% |
| ネットワーク事業 | 22,017 | 28,434 | 29.1% |
| ハードウェア | 4,847 | 3,741 | △22.8% |
| ソフトウェア | 12,955 | 20,330 | 56.9% |
| サービス | 4,214 | 4,363 | 3.5% |
| 合計 | 241,320 | 278,562 | 15.4% |

(注) 金額はセグメント間の内部売上高または振替高を除いた外部顧客への売上高であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は533,145百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,524百万円増加となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ14,028百万円増加となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が7,673百万円、商品が5,952百万円それぞれ増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,495百万円増加となりました。これは主に投資有価証券が1,161百万円、投資その他の資産のその他が216百万円それぞれ増加したことによるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,189百万円減少となりました。これは主にその他の流動負債が25,446百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が7,486百万円、短期借入金が8,912百万円、未払法人税等が6,490百万円、賞与引当金が3,767百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ42百万円増加となりました。これは主にその他の固定負債が24百万円減少したものの、退職給付に係る負債が66百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ16,671百万円増加となりました。これは主に利益剰余金が9,038百万円、為替換算調整勘定が6,973百万円それぞれ増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末の37,492百万円に比べ2,805百万円減少し、34,686百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは13,213百万円の増加(前年同四半期は、4,211百万円の増加)となりました。これは主に売上債権の増加、仕入債務の減少及び法人税等の支払いがあったものの、税金等調整前四半期純利益19,479百万円の計上及びその他流動負債の増加があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,527百万円の減少(前年同四半期は、835百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産及び関係会社株式の取得による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは16,786百万円の減少(前年同四半期は、3,267百万円の減少)となりました。これは主に短期借入金の純減及び配当金の支払いがあったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、半導体及び電子デバイスその他事業では、当社グループが主に注力する産業機器市場や車載市場などが、製造業のDX化や各国政府主導による半導体への投資、脱炭素化によるEV化などを背景に引き続き堅調に推移する見通しです。また、生成AI向けのサーバー市場など新たな市場の立ち上がりが見込まれています。一方、中国市場の減速感もみられるなど、不透明な状況です。ネットワーク事業におきましては、働き方の変化による需要から、エンドポイントセキュリティ関連商品が引き続き堅調に推移する見通しです。また、デジタル技術を活用していく過程でデータ活用の有効性の認識が広がっていることから、データ分析関連商品が成長すると予想しています。

これら事業環境と当社の収益状況を踏まえた結果、2024年3月期第2四半期連結業績予想及び通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 37,571 | 34,770 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 194,108 | 201,782 |
| 電子記録債権 | 9,531 | 11,388 |
| 商品 | 218,905 | 224,858 |
| その他 | 31,541 | 32,814 |
| 貸倒引当金 | △578 | △505 |
| 流動資産合計 | 491,080 | 505,109 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,040 | 2,178 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 1,526 | 1,634 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 141 | 141 |
| 土地 | 3,062 | 3,062 |
| その他（純額） | 1,256 | 1,339 |
| 有形固定資産合計 | 8,027 | 8,357 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,576 | 1,522 |
| その他 | 6,407 | 6,249 |
| 無形固定資産合計 | 7,983 | 7,771 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,909 | 5,071 |
| その他 | 6,619 | 6,836 |
| 投資その他の資産合計 | 10,529 | 11,907 |
| 固定資産合計 | 26,540 | 28,036 |
| 資産合計 | 517,620 | 533,145 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 186,838 | 179,351 |
| 短期借入金 | 46,039 | 37,127 |
| 未払法人税等 | 13,524 | 7,033 |
| 賞与引当金 | 7,481 | 3,713 |
| 役員賞与引当金 | 108 | 128 |
| その他 | 44,772 | 70,219 |
| 流動負債合計 | 298,764 | 297,574 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 8,000 | 8,000 |
| 退職給付に係る負債 | 1,410 | 1,476 |
| その他 | 1,684 | 1,660 |
| 固定負債合計 | 11,094 | 11,137 |
| 負債合計 | 309,858 | 308,711 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 14,040 | 14,040 |
| 資本剰余金 | 37,066 | 37,066 |
| 利益剰余金 | 132,857 | 141,895 |
| 自己株式 | △872 | △873 |
| 株主資本合計 | 183,091 | 192,128 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 333 | 450 |
| 繰延ヘッジ損益 | 38 | △145 |
| 為替換算調整勘定 | 16,329 | 23,303 |
| その他の包括利益累計額合計 | 16,701 | 23,608 |
| 非支配株主持分 | 7,969 | 8,696 |
| 純資産合計 | 207,762 | 224,433 |
| 負債純資産合計 | 517,620 | 533,145 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 241,320 | 278,562 |
| 売上原価 | 213,961 | 241,959 |
| 売上総利益 | 27,359 | 36,602 |
| 販売費及び一般管理費 | 15,093 | 15,949 |
| 営業利益 | 12,265 | 20,653 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 16 | 40 |
| 持分法による投資利益 | 3 | — |
| その他 | 197 | 88 |
| 営業外収益合計 | 217 | 129 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 203 | 681 |
| 持分法による投資損失 | — | 2 |
| 為替差損 | 688 | 182 |
| 債権譲渡損 | 273 | 233 |
| その他 | 37 | 72 |
| 営業外費用合計 | 1,203 | 1,171 |
| 経常利益 | 11,280 | 19,611 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 1 |
| 投資有価証券売却益 | — | 2 |
| 投資有価証券交換益 | 504 | — |
| その他 | 72 | 0 |
| 特別利益合計 | 577 | 4 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 7 | 37 |
| 投資有価証券評価損 | 131 | 98 |
| その他 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 139 | 136 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 11,718 | 19,479 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,350 | 5,735 |
| 法人税等合計 | 3,350 | 5,735 |
| 四半期純利益 | 8,367 | 13,744 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 510 | 164 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 7,857 | 13,580 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 8,367 | 13,744 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △326 | 172 |
| 繰延ヘッジ損益 | 169 | △183 |
| 為替換算調整勘定 | 7,714 | 7,461 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 12 | 19 |
| その他の包括利益合計 | 7,570 | 7,469 |
| 四半期包括利益 | 15,938 | 21,214 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 14,761 | 20,486 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,177 | 727 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 11,718 | 19,479 |
| 減価償却費 | 743 | 870 |
| 受取利息及び受取配当金 | △59 | △43 |
| 支払利息 | 203 | 681 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △3 | 2 |
| 為替差損益 (△は益) | △92 | △614 |
| 投資有価証券交換益 | △504 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △2,670 | △2,860 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △16,975 | 583 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 12,628 | △10,624 |
| その他 | 5,700 | 18,404 |
| 小計 | 10,690 | 25,878 |
| 利息及び配当金の受取額 | 54 | 55 |
| 利息の支払額 | △190 | △681 |
| 法人税等の支払額 | △6,342 | △12,039 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,211 | 13,213 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 貸付けによる支出 | △342 | △109 |
| 貸付金の回収による収入 | 321 | 163 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △409 | △397 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1 | 2 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △368 | △157 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △9 | △79 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 2 |
| 関係会社株式の取得による支出 | — | △922 |
| その他 | △28 | △29 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △835 | △1,527 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 519 | △12,170 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △1 |
| 配当金の支払額 | △3,653 | △4,440 |
| その他 | △134 | △174 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,267 | △16,786 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,041 | 2,294 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 2,150 | △2,805 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 25,099 | 37,492 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 27,249 | 34,686 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 合計 |
|-------------------|-------------------|----------|---------|-----|---------|
| | 集積回路及び電子デバイスその他事業 | ネットワーク事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 219,303 | 22,017 | 241,320 | — | 241,320 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 6 | 6 | — | 6 |
| 計 | 219,303 | 22,023 | 241,327 | — | 241,327 |
| セグメント利益 | 10,766 | 1,498 | 12,265 | — | 12,265 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 12,265 |
| セグメント間取引消去 | 0 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 12,265 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 合計 |
|-------------------|-------------------|----------|---------|-----|---------|
| | 集積回路及び電子デバイスその他事業 | ネットワーク事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 250,127 | 28,434 | 278,562 | — | 278,562 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 14 | 14 | — | 14 |
| 計 | 250,127 | 28,449 | 278,576 | — | 278,576 |
| セグメント利益 | 18,318 | 2,335 | 20,653 | — | 20,653 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 20,653 |
| セグメント間取引消去 | 0 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 20,653 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。